

松本理論に出会い、今まで抱いていた疑問が解消しました。

## 「アトピーで苦しまないため真実を知って下さい」

玉木信一 38歳

2017年6月2日

松本医院のホームページに書かれている「革命的アトピー（アレルギー）の根本治療」の論文を初めて読んだ時はすごく難しかったです。しかし少し理解できてくると「アトピーの治るメカニズムが書いてある！」と思い、やっと探し求めていた病院を見つけたと思いました。なぜならアトピー患者が辿る病院を探す放浪の旅を私も辿って来たからです。幼少の時からアトピーがプツプツと出ていたのでフルコート塗っていました。もちろん治る事はないのですがそれ程、気にせず成人まで過ごせました。

20歳を過ぎた頃に、顔に湿疹が少しできたので地元の有名な皮膚科の診療所に行きました。顔の表皮をスライドガラスに乗せ顕微鏡で調べていただき「なんて丁寧な先生」と思いました。診断はニキビに菌が入って炎症を起こしているという事で医院オリジナルの薬を貰いました。しかし塗っても治らない、むしろ顔以外にも湿疹ができ何回か通院して疑問に思ったので先生に「本当にニキビなのですか？」と尋ねました。先生は口を濁すだけで明確な答えは返って来ませんでした。分からないみたいなので血液検査をする事になりました。検査結果はIgE抗体が6200もあり、どうやら私はアレルギー体質なのでニキビが治りにくいと診断されました。処方された薬を塗り続けても少しも良くなり、この病院ではダメだと思い違う病院を探す事にしました。

当時の私は違う病院に行けば違う治療法があり必ず治るものだと思っていました。行く病院で処方された薬は全部ステロイドでした。その頃には全身に湿疹ができ、いったい顔のニキビからなぜこんなに全身に広がったのか自分でも訳が分からず、そしてどの先生も私の疑問に答えてくれませんでした。

こうなったら医大に行くしかないと決意し、医大なら最先端の治療を受けられると思い行きました。パッチテスト、医大に行くまでに塗った薬などをテストしてみると一番反応しているのが、皮膚科の診療所の保湿剤でした。アレルギー患者にアレルギー反応する保湿剤を処方していたみたいです。その結果に医大のU先生は「K先生は良い先生」と弁明していました。（K先生は医大の先輩みたいです。）もちろん保湿剤が根本原因とは思わず、医大ならアトピーが治らない理由を教えてもらえるものだと思っていましたが、キンダーベート、プ

ロトピック、リンデロン、アレロックを処方されました。そして1日の行動で何をしたら痒くなるかを記録しなさいと言われてました。もう私の頭の中は附に落ちないことばかりでした。なぜこんな体になったのかも分からず、治るとも言ってくれないし、本当に治るのかと疑問ばかり出るようになり医療に不信感を抱く様になりました。就寝時、常に枕元には薬を置いて薬漬け、昼夜は逆転し引きこもりがち、気分は絶望的になり完全に墮落した生活をしていました。ステロイドを塗っても数日しかもたないし、無理やりアレルギー反応を体の中に押し戻している感じがして本当にこんなのを塗り続けて良いのだろうかと思人々の私でも不安に思うようになりました。インターネットでアトピーの事を調べていると「水で治った」とあったので購入してしまいました。今から思えば何の根拠もなく治る訳がないのにワラをもすがる思いでした。皮膚科の先生がアトピーを治してくれていれば、こんなにアトピービジネスが氾濫せず、騙されるアトピー患者もなかったのだと思います。結局水なんかで良くなる事もなく、ステロイドにも嫌気がさして自分で脱ステをしてしまい路頭に迷っていました。私みたいな路頭に迷うアトピー患者はたくさんいると思われま。一体皮膚科の先生達はどう思っているのか伺ってみたいものです。

ネットでやっと見つけたのが松本医院でした。松本先生の論文を読むと今まで解らなかつたアトピー性皮膚炎という病気がなぜ起こるのか？成人してからなぜ酷くなったのか？顔にできた小さい湿疹から全身になぜ広がったのか？そしてなぜ皮膚科で治らないのか、私が知りたかつた事が全て書かれていました。ハッキリ言って「すごい！」と思いました。こんなに説得力があつて根拠が書いてあつて、今までの皮膚科の先生たちが口を濁していた事すべてが解つたので、自分の中でアトピーに対する不安がなくなりました。松本先生の治療を受け、論文を深く考える様になり色々思い知らされました。

結局アトピーってステロイドの副作用の影響がほとんどで、今まで他の皮膚科で治療をしていた事は全くの無意味。むしろどんどん悪くさせていた事。そして実は製薬会社と医師と厚労省は確信犯でアトピー患者を作り利権にまみれていた事。その事実を知つて腹が立つてしまいショックも受けました。この事実を大半のアトピー患者は知らず今でも薬漬けで医療はクリーンで間違いが無いと昔の私みたいに信じているのでしょう。とてもやるせない気持ちになります。テレビを見れば花粉症や風邪薬のCMがあふれ、日本人は気軽に薬を乱用しています。免疫抑制剤が入つた薬を服用し、みんな知らずにリバウンドという時限爆弾を仕掛けられて製薬会社と病院のカモにされているのです。そのうち、アトピー患者がもっともつと今より増えアレルギー患者で深刻な社会になると思ひます。本当に重度アトピーになれば、引きこもり、無職、自殺、低収入、鬱、こうした人達が増え経済や社会が回らなくなると思ひます。こうした要因を作つているのが製薬会社、病院、官僚だと思ひます。彼ら達は、目先の利益ばかり考え、その結果どういった事になるか考えもしないと思ひます。そして彼らのしている事をごまかしているのがアレルギーを扱つたTV番組です。

松本先生の論文の知識を知ってしまったら、病気を扱うTV番組に疑問を感じます。「要因であるアレルギー物質を避けよう」などと放送し、本当の原因である抗体がなぜ高くなっているのかを言わないのか？そこを追求するとバレちゃうからだと思います。また、厚労省も正しい治療法に保険が効かなく、利権の絡んでいる間違った治療法には保険が適応されているなんておかしいと思います。こうした事実をまだ松本先生のお考え、論文に出会えていないアトピー患者に知ってもらいたいし、諸悪の根源であるステロイドの危険性を知ってもらいたいと思います。

今私はリバンド中で日々つらい思いをしています。2度とステロイドを塗りたいとは思いません。私みたいにアトピーで苦しむ人を作らせない為にもこの事実を少しでも広めて知ってもらいたいと思います。





